

様式第4号（第15条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和2年度第2回美里町近代文学館運営審議会

2 開催日時 令和3年2月19日（金） 午前10時30分

3 開催場所 美里町近代文学館 視聴覚会議室

4 会議に出席した者

（1）委 員

渡部 恭委員 中舘 典子委員 小嶋 恵美子委員 小野 久美子委員  
渡邊 智佳子委員 木田 真由美委員 鈴木 正樹委員 佐藤 喜美代委員  
志摩 勝彦委員

（2）事務局

教育次長兼教育総務課長兼学校教育環境整備室長 佐藤 功太郎  
教育総務課課長補佐兼近代文学館長兼小牛田図書館長 櫻井 弘美  
教育総務課課長補佐兼南郷図書館長 草刈 明美  
近代文学館 主事 泉 里枝

5 会議を欠席した者

大町 龍一委員

6 議題及び会議の公開・非公開の別

（1）議題

- ① 署名委員指名
- ② 令和2年度事業報告について
- ③ 令和3年度事業計画について
- ④ その他

（2）会議の公開・非公開の別

公開

7 非公開の理由

8 傍聴人の人数

0人

## 9 会議資料

別紙のとおり

## 10 会議の概要

### (1) 署名委員指名

渡邊智佳子委員と志摩勝彦委員の2名とした。

### (2) 令和2年度事業報告について

館内行事、館外サービス、施設見学、町民ギャラリー企画展、視聴覚会議室利用講座及び体験研修受入の実績について、事務局から報告を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業が多くあった。

### (3) 令和3年度事業計画について

図書館行事、視聴覚会議室利用講座及び町民ギャラリー企画展の計画について、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら事業を実施していく旨事務局から説明を行った。

### (4) その他

令和2年度予算で、新型コロナウイルス感染症対策として網戸設置等の施設の改修、消毒できる備品の購入、図書の購入を行ったことを、事務局から報告した。

### (5) 意見の詳細

別紙のとおり

【午前10時30分 開会】

事務局 (草刈館長)	<p>定刻まで少しお時間がありますが、皆さまお揃いですので、ただいまから、令和2年度第2回美里町近代文学館運営審議会を開会いたします。</p> <p>まず始めに、教育総務課長の佐藤よりご挨拶申し上げます。</p>
佐藤教育次長	<p>皆さま大変お疲れ様です。教育委員会の佐藤功太郎と申します。なかなかお会いする機会がないのですが、本日はよろしくお願いたします。</p> <p>教育長は別件で、後藤家の古文書を読むにあたり、町内にあります古文書を読む会に解読作業を依頼するということがあり、そちらに出向いております。本日はこちらの会議に出席できないということで、皆さまによろしくということでした。</p> <p>私のほうからは、令和3年度から、町の総合計画が新しい時期を迎えまして、新たに5年間新しい計画の基に事業が進められていくということございまして、その中でこの図書館、近代文学館の運営については、基本的な方針は変わらないのですが、その計画に基づいて進めていくということになります。ここの運営につきましては、南郷も含めてということになりますけれども、運営方針を皆様のご意見をお聞きした上で策定しておりまして、その方針に基づいて進めているということになります。近代文学館につきましては、30年を迎えてということもございまして、開館当初からはだいぶ社会も変わってきておりまして、社会に対応した図書館の運営、より住民の方にお使いいただけるような運営に努めているところでございますが、今後ともみなさまのご意見をしっかりといただきながら、皆さまに愛される、使っていただけるような図書館になるよう今後ともお力添えをよろしくお願いしたいということでございます。</p> <p>本日は令和2年度の事業の報告と令和3年度の事業計画等につきまして、お話をさせていただいてご協議いただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、以上で挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (草刈館長)	鈴木委員長さんからご挨拶をお願いいたします。
鈴木委員長	本日で2回目の運営審議会の開催になります。前回は10

	<p>月1日でしたので、こういう風に寒さが続くとは思っていませんでしたが、昨日が暦では雨水ということで季節が変わるというようなことだと思いますが、それもあってちょっと薄着をしてきましたら、若干寒いということになりました。</p> <p>皆さんにおかれましては、年2回の運営審議会ですけれども、本日は令和3年度の事業計画も議題となっておりますので、皆さんのご意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局 (草刈館長)	<p>続きまして、署名委員さんの指名になりますけれども、事務局のほうからお願いしてもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、渡邊智佳子さんと志摩勝彦さんをお願いしたいのですがよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>では、協議に入ります。ここからの議長を、鈴木委員長さんをお願いいたします。</p>
鈴木委員長	<p>それでは、次第に則りまして協議を進めてまいります。</p> <p>(1) 令和2年度事業報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (櫻井館長)	<p>それでは、1ページ目の令和2年度事業報告をご覧ください。座って説明させていただきます。</p> <p>今年度はコロナの影響がとても大きくて、図書館のほうも4月9日から5月10日まで臨時休館などもございました。そのため、春から夏にかけての行事はコロナ対策ということで全面的に行事ができませんでしたので、参加者数のところには線が引いてございます。未実施ということになっております。</p> <p>秋以降、行事を開始させていただきまして、図書館まつりWeekと題しまして、昨年までは1日開催だったものを15日間ということとさせていただいておりましたので、皆さんのご参加もとても多く、小牛田図書館では延べ1490人、南郷図書館では延べ300人の方においでいただきました。学校と連携する行事も組んでおりまして、POP決戦！本の三国志と題しまして、こちらは中学生のみなさんに本のPOPを作成いただきまして、図書館に貼り出して皆さんに投票いただくようにいたしました。今年度は70票の投票がございました。</p> <p>それから、スタンプラリーですが、郷土資料館、小牛田図書</p>

館、南郷図書館を皆さんに知っていただくために3か所を回っていただくスタンプラリーとなっております。こちらは21人の参加がございました。

それから、12月に入りコロナにかかった方がいらっしゃいましたので、クリスマスおはなし会について募集は掛けましたが残念ながら中止という形になりました。

1月になりましてから、震災から10年ということもございましたので、震災の企画展を開催いたしました。その間にひと箱古本市ということで、不要になった本を町民の方から段ボール一箱分募りまして、来場者に持ち帰っていただくという企画を行いました。こちらはおよそ200人くらい参加をいただいております。

2ページ目になります。あつまれ！3歳っこについては、町内の3歳になったお子様に、おひとりおひとり名前の付いた図書館のカードを差し上げております。その時に本来ですと本の読み聞かせなどを行っておりますが、昨年の3月後半から事業のほうがなかなか思うようにできず、昨年度は南郷だけ10組で開催としました。今年度は日にちを限定せず、およそ2か月の間に図書館にお越しいただいた方に、カードと本を入れるバッグを進呈させていただいております。あとは、おひざにだっこ、おはなし会、おはなし広場、おはなし大好き！などは、お手伝いをいただきながら9月以降実施しているところです。

②館外サービスとなります。こちらは、今も継続の事業がほとんどでして、集計のほうは事業が完了してからとさせていただきます。この中で、ブックハローも読み聞かせはできないということになっております。その他、学級文庫の貸出、支援センターでの読み聞かせは秋以降に開始しております。学校での朝の読み聞かせは、小牛田小学校さんと北浦小学校さんということで、ご希望のあった学校に行かせていただいております。今年度は、高齢者交流会のご希望がありませんでしたので、今のところ件数なしということになりそうです。

3ページ目になりますと、施設の見学になります。町内の小学校に限らず、涌谷の小学校さんからも見学に来ていただいていたのですが、やはり夏休み以前は各学校の希望どおり見学に行くのが難しいということでしたので、秋以降の開催とな

	<p>っております。半数くらいの学校さんに、授業の一環として見学に来ていただきました。続いて、町民ギャラリーの企画展です。こちら春の段階では展示会の企画ができず、実際にスタートしましたが、8月の原爆パネル展からになります。こちらはまちづくり推進課さんと協力しております、来場した方には折り鶴を折っていただきました。パッチワーク展なども計画していたのですが、主催の方から今回は見送りたいとお話がありまして、中止となっております。1月には、子どもの本移動展示会をさせていただきました。これは、宮城県図書館から借りた本を飾らせていただいております。河北展入賞・入選作品展を毎年開催しておりますが、通常ですと12月に開催しておりましたところ、河北展自体の開催が遅れまして、今年度は3月に開催いたします。また、ギャラリーでは、早坂美名子さんのフェルトセンスアート展を本日から開催しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。</p> <p>4ページ目は、視聴覚会議室利用講座です。少しだけルネッサンスという講座は2年おきの開催を予定しております、今年度開催の予定でしたが、実施できませんでした。また、毎年読み聞かせの講座も実施しているのですが、コロナ対策でできませんので、ボランティア育成講座ということで、あまりお話ししないような、制作講座として計画しております。</p> <p>6番目は体験研修の受入です。こちらは各学校さんのご利用がありませんでしたので、全て中止となりました。</p> <p>令和2年度の行事は以上となります。</p>
鈴木委員長	<p>令和2年度の事業報告について説明がありました。多くの事業が計画されましたが、臨時休館があったり、コロナによって中止になったりということでした。今お話をいただいた報告の中で、質問がございましたらお願いいたします。どういう事業をやっているのかとか、具体的な説明が聞きたいとか、そういうことでも構いません。この事業計画は、運営方針に則って利用者を増やすことを考えながらやっているわけですが、コロナで中止になったりということで、職員の方もやる気を削がれるというような状況でもあるかとは思いますが。なんでも結構です。はい、志摩さん。</p>
志摩委員	<p>町民ギャラリー企画展とありますが、近代文学館複製絵画展の複製した絵というのはどういう絵なんですか。石版</p>

	画みたいなものなのか、油絵みたいに描いて複製したものなのか。例えば、50枚刷ったうちの3番目とか、そういう風な価値のあるものなのか。
事務局 (櫻井館長)	はい。皆さんのお手元に要覧の方を差し上げていました。こちらの要覧のですね。11ページをご覧いただきたいと思います。 失礼しました。複製絵画の数ですけれども、小牛田の方には108、南郷の方には2つございます。
事務局 (草刈館長)	内容につきましては、印刷されたものを額装しているものですね。印刷も特殊なプリントがされているものなので、ちょっと見た感じだと絵の具で描いたような感じのイメージでとらえられるようなもので、だいたい幅でいうと、そのテレビの画面より一回り小さいくらいのとか、小ぶりのもの、油絵、水彩画、浮世絵、そういったものがあるので、お部屋とか季節に合わせて飾れるようになっております。レンブラントとか、ミレーとか、皆さんが教科書で見たことあるものを絵画にしていますので、個人の利用もあるのですが、実は学校の利用もありまして、廊下に飾ったりだとか、そういう風な形で活用していただいている学校もあります。
志摩委員	そうすると美術印刷みたいな感じですね。色を何色も重ねてこう印刷する・・・
事務局 (草刈館長)	はい。下に飾っているのがあるので、お帰りの際にちょっと見ていただけると。
鈴木委員長	よろしいですか。帰りに見るより・・・
事務局 (草刈館長)	何か一つ、持ってきますか。では、走ります。
鈴木委員長	その他にございませんか。
小嶋委員	興味があったんですけど、ひと箱古本市が1月末にあったようですが、どういう様子だったのか聞きたいのと、あともう一点が、今度行われる3月5日のボランティア育成講座はどのような内容なのかお聞きしたいです。
事務局 (櫻井館長)	ひと箱古本市ですけれども、町民の方にご不要になった本を段ボール一箱分お持ちいただいて、本来であれば対面で本が欲しい方がお見えになって、お話ししながら本を差し上げるという内容だったのですが、今回コロナ禍ですので、皆さんには本をお持ちいただいて、看板を作っていたり、本を出

	品した思いを書いていただいたりして、無人で本を置いておいて、来た方に本を自由に持って行っていただく催しになっております。いろいろな方がお見えになりまして、今回南郷高校の図書活動をしている図書委員さんにも一箱お出しいただいたので、若者が読むような本もございましたし、専門的な辞典のようなものもございました。出店者の方々はいろいろ本当に出していただき、たくさんの方にお越しいただいて大変盛況な行事でした。
木田副委員長	それは全部さばけるっていうか、その・・・
事務局 (櫻井館長)	残った本に関しましては、図書館にない本については図書館に寄贈ということで頂戴します。ある本につきましては、こちらで処分をさせていただくことをご了承いただいております。
鈴木委員長	箱の大きさは。
事務局 (櫻井館長)	段ボール一箱分ということで、特別何センチとはしていませんでしたが、本によっては結構大きさがありますので、一人一箱と言うことでお出しいただいております。
鈴木委員長	参加者はおおよそ200人とありますが、来られた方が200人ということですか。
事務局 (櫻井館長)	はい、そうです。
鈴木委員長	そうすると、一箱出された方は何人ですか。
事務局 (櫻井館長)	10人くらいお出しいただきました。
事務局 (泉主事)	失礼します。こちらが複製絵画です。 【複製絵画の現物を各委員に回覧】
鈴木委員長	はい。それでは、ボランティアの方ですが・・・
事務局 (草刈館長)	はい。通常ですと、読み聞かせの講座ということで一般の方を対象に広く募集をかけるんですけども、本来であれば秋口に一回、今くらいの時期に一回、絵本の資料論などをお話していたところなんですけど、今回は実際に活動されている町内の3つの読み聞かせボランティアさんの団体がありますので、その方たちのスキルアップを目的とした養成講座にしようということになりました。その方たちには、これまでもいろいろ資料論とか読み聞かせの手法についてのお話は何回かしているということなので、実際に読み聞かせで使う小道具と



	かですね、読み聞かせには本だけではなくて、人形とか歌を歌う時にそれを表現するものとか使うものが結構ありますので、そういったものを実際に作ってこれからの活動で利用していきたいということで、考えております。今のところ、歌遊びに使える紙人形を作成しようというところですが、後でもう一度改めて団体の方々にご案内する予定です。
鈴木委員長	よろしいですか。その他にございませんか。
佐藤委員	はい。館外サービスの一番下に高齢者交流会とありますが、内容はどのようなものでしょうか。
事務局 (草刈館長)	はい。こちらはですね、地区のお茶飲み会に行っていてですね、文化財係と郷土資料館と連携して行うものですが、図書館にある資料を見せつつ、実際に昭和に使われていた炭のアイロンとか、豆炭あんかとか、そういうものを持って行きながら、「みなさん昔こういうことしましたよね、ご存じですか」という話をしたり、図書館ですと、昔流行った歌謡曲の一節を歌って、「さあ、これは誰が歌ったなんという曲でしょう」というようなお話を一時間半くらいのプログラムで行うんですけれども、これは回想法ということで、昔を振り返ると認知症予防になるということで、福祉施設とか一部の図書館で行っているんですけれども、私たちもこの2～3年やっています。実は最初、まるっきり昔話を語ってくださいということで依頼があったんですけれども、そうじゃなくてこういう手法もありますとお伝えして始めたところ、何か所からかそういう依頼を受けてやっているところです。
佐藤委員	ありがとうございます。
鈴木委員長	他にございませんか。 それでは、令和2年度の事業報告につきましては、以上にいたします。もし、何かありましたら次の令和3年度の事業計画の時でも結構です。それでは、事業報告については、以上で終えさせていただきます。 2番目に、令和3年度の事業計画ということで、事務局お願いします。
事務局 (櫻井館長)	それでは、5ページの令和3年度の事業計画をご覧ください。 毎年、4月23日から5月12日は子どもの読書週間ということになっておりますので、毎年企画展示とお話を小牛

田と南郷両方で行っておりましたが、やはりコロナの関連で心配な点もございますので、まずは企画展の方をさせていただきまして、おはなし会の方は5月以降様子を見てさせていただこうと思います。このおはなし会が人気で、読み聞かせや手遊びに結構大勢子どもさんたちにお集まりいただいております。それから、ブックラリーの方は、子供の読書週間に合わせて、その日から一年間図書館の薦める本を皆さんに読んでいただいております。

夏になりますと、夏の特別なおはなし会や、夏休みを利用して小学生を対象とした手作り絵本の教室や、夏休み工作教室を開催する予定です。こちらもコロナの様子を見ながら、少人数の開催だったり、あまり密にならないような体制を心がけてやっていきたいと思っております。

秋になりますと、図書館まつりということで、昨年度までは1日限りの開催だったのですが、今年度は2週間にして開催したところ、とても好評でしたので、密にならないということも考えまして、令和3年度も2週間くらいの開催ということで実施していきたいと思っております。

冬になりますと、クリスマスおはなし会、冬のスペシャルおはなし会、2～3月はあつまれ3歳っことということで、対象年齢のお子さんに利用カードと図書館バッグを差し上げて、図書館の利用を促していきたいと思っております。

3月になりますと、春のスペシャルおはなし会と児童図書の講座の方も開催していく予定です。

6ページ目になりますと、おはなし会の方は、今は距離を置きながら密にならないような形で開催しておりますので、こちらも例年どおり開催していきたいと思っております。子育て支援センターと連携しておりますほかおはなし会についても、令和3年度も実施していく予定です。あとは、ボランティアさんのご協力をいただいたり、1歳3か月児のお子さんを対象にブックハローということで、本をお渡しする行事もコロナの様子を見ながら実施してまいります。

2番目の視聴覚会議室の利用講座ですが、令和2年度にできなかった「少しでもルネッサンス」講座の実施を計画しております。

3番目の町民ギャラリー企画展ですけれども、今年度でき

	<p>ませんでした、近代文学館で所蔵しております複製絵画を皆さんにご覧いただいたり、絵画の春光会さんですとか、パッチワークのコットンフレンドさんですとか、各グループさんと相談しながら企画展を開催していきたいと思っております。それから、河北展の入賞作品の展覧会ですが、令和3年度に河北展が実施されたときは、こちらでも開催していきたいと思っております。子どもの本の展示会の方も、宮城県図書館から借用しましてやっていきたいと思っております。</p> <p>令和3年度につきましては、このような行事をさせていただく予定です。令和3年度の近代文学館の開館時間についてなんですが、近代文学館条例には午前10時から午後6時までとなっております、令和2年度はコロナのこともありましてその時間で開館しておりました。令和3年度も同様に条例どおりの開館時間としたいと思っております。以上です。</p>
鈴木委員長	<p>はい、ありがとうございます。令和3年度の事業計画ということでございますが、それぞれの事業ごとに説明をいただきました。いずれもコロナの状況で事業が変更になることも考えられるということだと思います。なかなかコロナは収束しない状況ですから、コロナといっしょに向き合って生活をする、そのあたりを意識した運営をしていただきたいとお願いをしておきますけれども、今説明いただきました事業計画は令和2年度と極端に違うということはないようですが、令和2年度と見比べて気づいたことなど、なんでも結構ですので皆さんからご意見・ご質問をいただきたいと思っております。</p>
中館委員	<p>これは難しいかもしれませんが、今年で地震になって10年になりますね。この間も地震がありました。それで、その時この図書館はどうなっていたかとか、そういうのを展示してもいいんじゃないかなと思うんです。というのは、私はこのすぐ近くに住んでいるものですから、地震の時は、本当はここに逃げるはずだったんです。でも、ここがだめになって、文化会館の前で電気をもらったりだとか、そういうことをみんな忘れてる。この間地震になって、それを思い出したんですね。ここは土地が柔らかいものですから、ともかく家が壊れたりしたんです。図書館ではそういうことも記録として残しているはずなんです。そういうのを展示して見せてもいいんじゃないかなと。おかしいでしょうか。</p>

事務局 (櫻井館長)	令和2年度の事業でもう終わってしまったんですけども、図書館の被害というふうには限定はしなかったんですけども、震災の企画展を1月26日から2月14日までさせていただきます。
中館委員	そうだったんですね。すみません。
事務局 (櫻井館長)	それで、写真や図書館にある本なども並べさせていただきます、小学校でも高校でも震災のことを勉強しているようなので、青生小学校の5年生さんには「災害の時にどういうものが必要か」ということを、それぞれ紙に書いていただきまして、模造紙に貼らせていただきまして、展示しました。
中館委員	すみません。わからなかったものですから。
事務局 (櫻井館長)	なので、今年10年経ったということで、震災の企画展をさせていただきます。
中館委員	この間の地震がすごく怖かったものですから、思い出しまして。
佐藤委員	ありますね、そういうことは。
事務局 (草刈館長)	あとですね、図書館には当時の新聞、河北新報が保存されています。どうしても災害の対策に行かなくてはならなくて、写真を撮ることがなかなかできなかったのも、当時の状況がどうだったのかが、新聞で生々しく記事になっていますので、記録としてあります。それから、震災のコーナーが常時書架にありますので、そういったところもご覧いただければという風に思います。
鈴木委員長	よろしいですか。
中館委員	はい。
鈴木委員長	その他にございませんか。
志摩委員	(3)のその他に行っていていいですか。まだでしょうか。
鈴木委員長	その他のことなんですか。
志摩委員	ちょっと個人的なことがあるんですけども。
鈴木委員長	では、その他のところでお願いします。他に何かございませんか。 すみません。あつまれ3歳っこは、やっているんですよ。前の年が非常に集まりが悪かったように思えるんですけども。
事務局 (草刈館長)	そうですね、これは実はコロナが出る前に、南郷だけが実施できたんです。小牛田地区と南郷地区でやって、南郷地区の方

	<p>が早かったので、10組の参加だったんです。その一週間後、二週間後だったか、2月29日くらいに小牛田が会場になるはずだったんですが、その時にはもうコロナが出てきたということで、開催が中止になったというところなんです。対象者数が小牛田の方が多くて、南郷の方が少なかったというところで、このような数字となっております。</p>
鈴木委員長	<p>はい、わかりました。</p> <p>それでは、2番目の令和3年度事業計画について以上で終了したいと思いますよろしくお願いしますでしょうか。</p> <p>【はいの声あり】</p> <p>それでは、3番目のその他に入ります。先ほど志摩委員さんからお話がありましたけれども。</p>
	<p>はい。ちょっと個人的なことなんですけれども、昨年小牛田駅が開業130周年を迎えたんですよ。それで、130周年の記念として、私は歴史写真展をしたいと思ひまして、美里総合案内所で4月6日から行います。その時に、資料としてこの図書館さんからたくさんのお本をお借りしまして、隅々まで見させていただきました。いろいろな発見があったと言ひますか、私にとっては宝物のような状態で、それを写真に添えてキャプションとして展示したいと思ひます。小学校の頃は夏休みに研究発表という宿題がありましたけれども、大人の研究発表みたいなものです。みなさん、ぜひ見てください。</p>
中館委員	<p>日にちをもう一回教えてもらえますか。</p>
志摩委員	<p>あとで資料を差し上げますので。こちらに書いてありますね。</p>
中館委員	<p>ありがとうございます。</p>
鈴木委員長	<p>では、事務局の方から何かありませんか。</p>
事務局 (櫻井館長)	<p>はい。令和2年度の予算にはなるんですが、新型コロナウイルス感染症の対策ということで、近代文学館がいくつか改善される場所がありますのでお知らせします。近代文学館の建物なんですけど、30年経ちまして、コロナに対する対策ができる建物かというところ、ちょっと弱いところがありました。まず、1階の畳のコーナー、いこいのコーナーなんですけれども、長く愛されている場所ではあるんですが、あそこに1~2人座られると、他の方が利用できないような空間になっていきますので、あちらは畳を取らせていただきまして、ソファとテ</p>

	<p>ーブルに模様替えとさせていただきます。また、こちらの視聴覚会議室もですが、換気のために網戸を設置します。それから、こちらの会議室は会議やサークルさんの活動で長くご利用いただいていたんですけれども、子どもたちの学習スペースにも活用したいなという考えがありまして、出入り口のドアを閉めてしまうと、部屋の中があまり見えないような状態になってしまいます。子どもたちだけで勉強するとなると、私たち職員も巡回はしますけれども、中が見えた方が安全性が高いので、ドアの方を取り換えて、中が見えるようなものいたします。また、防犯カメラの方も設置しようかなと思っております。それから、30年の近代文学館の備品ということで、ソファなどがかなり傷んでいる状態になっていました。今お座りいただいている椅子もなんですが、布張りが非常に多くて、実は消毒がなかなか難しい状態になっておりました。これも、新しいソファでビニールレザー的な素材になってしまいますが、消毒できるソファと椅子に交換させていただきます。南郷図書館のソファも同時に交換します。</p> <p>それから、図書の資料費ということで、本やDVDなどを購入する費用もつけていただきましたので、1月から新しい本を続々と購入しております。こちらの本を、ぜひおうち時間で活用していただきたいと思っております。この中で、学校さんへもいろいろと本を貸し出してしております。学校で調べ学習をするときに使う本だと、セット販売で値段がお高めものが多く、なかなか買えないでいたのですが、そういったものも新しく交換させていただいて、学校さんへ貸し出したりですか、あるいは学級文庫の本を新しいものに変えたりだとか、新しく買った本で美里の子どもさんたちにもたくさん本に触れあっていただきたいと思っております。</p> <p>こちらの予算は、令和2年度の予算ですので、3月中に備品の購入、図書の購入、施設の改築を終えることとなります。4月にはちょっとリニューアルした図書館をご覧いただけるかと思っておりますので、ぜひ新しい図書館の方をご期待していただければと思います。</p>
鈴木委員長	<p>今の説明、よろしいですか。 それでは、委員さんから何かあれば。</p>
木田副委員長	<p>さっき地震のことが出たのでお聞きしますが、3.11のと</p>

	きは図書館の本がすごい状態だったと思うんです。その復旧作業でボランティア等は入れたんでしょうか。
事務局 (草刈館長)	基本ボランティアは入れていません。
木田副委員長	間に合ったんですか。
事務局 (草刈館長)	なかなか大変なところではあったんですけども、本を戻すということで、ただ戻すのではなくて整列させて戻さなければならぬということがありましたので、そこは職員がやりました。ボランティアで入ってもらったのは、退職した司書の方に1～2人ほど中で作業をしていただきましたが、一般の方のボランティアは受けなかったです。3月11日もだったんですが、次の4月8日に4割方本が落ちたんですけども、その時は職員が普通に図書館に勤務できていたので、1日半くらいで復旧ができたというところですよ。
中館委員	この間の地震では何もなかったんでしょうか。
事務局 (草刈館長)	特に大きな被害はなかったです。
事務局 (櫻井館長)	何冊か本は落ちましたが、特に大きな被害はありませんでした。
中館委員	わかりました。よかったです。
鈴木委員長	その他にございませんか。 地震対策ということで、強い地震が来ると本を止めるようなものが本棚についていたと思いますが・・・
事務局 (草刈館長)	それですが、今は外しております。
鈴木委員長	外したんですか。
事務局 (草刈館長)	実は、あのストッパーがかかると、負荷がかかって自立の書架が全部崩れるんですね。それで、壁に入っている書架に関してはあれがすごく有効的なんですけど、ストッパーをかけて本を落とさないようにするよりは、本を落として書架の倒壊を防ぐというか、東日本大震災レベルになるとそっちのほうが人への被害が少ないというふうに全国的になってきています。地域とか、図書館の考え方でストッパーをかける・かけないの考え方は変わるとは思いますが。
鈴木委員長	気が付かないでしまってすみません。あるものだと思っていました。

事務局 (草刈館長)	前はあったんですがね。
鈴木委員長	それでは、以上で協議の方を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。
事務局 (草刈館長)	では、これで令和2年度第2回美里町近代文学館運営審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委 員

委 員